

# 住みよさ実感

瀬戸内交流文化都市 たけはら

## 障害者ふれあいランド

障害のある人々に対する理解を深め、社会参加を促進するため、広島県障害者ふれあいランドを開催します。

内容 手工芸品や文化・芸術作品の展示・即売、歌などのステージ発表、障害のある人々への福祉施策の紹介など

日時 8月29日(土)・30日(日)

場所 福山ロッツ

問い合わせ

広島県障害者支援課

☎082-513-3162



パソコン点訳を学ぶ「みちしるべ」のみなさん

## 読みたい人が いる限り、 続けたい

市内では、様々なボランティアグループが活動しています。その一つである点字サークル「みちしるべ」は、社会福祉協議会と連携して視覚障害のある人に市広報紙や読み物を点訳して届けるなどの活動をしています。

最近ではパソコンで入力し、点字に変換するパソコン点訳が普及しています。「みちしるべ」にもパソコン点訳を学ぶ人が多くいます。その一人、上田晴子さんは「パソコンで点訳できるなら、気軽に参加できそうだと思うんです。」と、参加の理由を教えてくださいました。他のメンバーも、「体力的にできるかなと思って。」「足腰が立たなくなってもできるボランティア。」と口々に話します。20年

## デジタル録音編集・SPコード講座受講者募集

パソコンを使って、視覚障害の人への情報提供方法を学ぶ講座です。

日時 8月29日(土)から10月10日(土)までの土曜日で、計7回。各回とも13時20分から15時20分まで。

会場 ふくしの駅3階研修室

対象 市内に在住または勤務する人で、Windowsの基本操作ができる人

定員 20人

受講料 無料

申込期限 8月17日(月)

申し込み・問い合わせ

社会福祉協議会

☎22-5131



以上、「みちしるべ」で活動する元山美代子さんはいいます。「自分にあつたやり方や時間の使い方をすることが、ボランティアを続けるコツ。」

みなさん、「何かの役に立ちたい」「社会と関わりたい」「興味があるから参加したい」と思いは様々ですが、自分に合った方法を探して自分のペースでボランティアを楽しんでいる点は同じようです。「最近、自分が好きな本を読んでいる時に、ふと、こんな本を読みたい人もいるんじゃないかなあと思うようになったんです。」と話すのは、始めて2年目の堀川久子さん。活動がきっかけで、堀川さんの中で意識の変化があったそうです。ボランティアは、誰かの役に立てると同時に、人との関係づくりや生活の充実、そして自分自身の成長につながっていくものなのかもしれないですね。現在、点訳を必要とする人は減ってきていますが、「みちしるべ」の代表、鈴木穂子さんは、「読みたい人がいる限り続けたいし、利用者がいなくても、必要になった時、いつでも提供できるようにしておきたいんです。」と語ります。

### ●市政発展のためのご意見などをお寄せください



郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係 FAX 22-0998  
※電子メールでも受け付けています。市ホームページ「市長の部屋」から送信できます。  
いただいたご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。

## ティータイム

7月22日、皆既日食を楽しみにされていた人も多いのではないのでしょうか。私も竹原で部分日食を観測しましたが、太陽が隠れていって三日月の形になり、本当にびっくりしました。長生きして、次も見たいものです。⑦

## 人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	29,845人
男	14,083人
女	15,762人
	13,011世帯
1年前	30,187人
5年前	31,689人
	-7月1日現在-

「読みたい」という一人ひとりの思いに応える活動を、今後も続けていけるそうです。